

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アップガレージ

コード番号 3311 URL <http://www.upgarage.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石田 誠

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長

(氏名) 大塚 康雄

TEL 042-799-5577

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,461	8.8	68	60.1	66	56.8	42	158.6
21年3月期第2四半期	2,262	—	42	—	42	—	16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3,024.69	—
21年3月期第2四半期	977.96	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,771	744	42.0	52,510.26
21年3月期	1,845	716	38.8	50,485.58

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 744百万円 21年3月期 716百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,087	12.4	135	11.6	125	98.4	69	283.3	4,863.95

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	16,990株	21年3月期	16,990株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,804株	21年3月期	2,804株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	14,186株	21年3月期第2四半期	16,969株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1、平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成21年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2、本資料に掲載されている業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績とは異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の一部に下げ止まりの兆しが見えるものの、依然として、雇用、所得環境は厳しい状況が続いております。また近年、経済のデフレ傾向が、小売業界の経営環境に厳しい状況をもたらしております。

このような状況下において、当社の属するリユース業界では、消費者の低価格志向並びに環境問題意識の高まりから、市場規模は着実に拡大しております。当社においては、市場規模の拡大、リユース・リサイクルに対する消費者意識の変革に対応するため、直営事業では、積極的な新規出店を行いつつ、関東圏外の一部店舗では、地元根付いた店舗展開を推し進めているため、フランチャイズ店への転換を行っております。フランチャイズ事業においては、既存フランチャイズ店への販売力強化の為にノウハウ提供を行い、新規開発では、未開発エリアへのフランチャイズ店誘致、既存フランチャイジーの多店舗展開の推進を行っております。

当第2四半期累計期間の店舗数の増減は、「アップガレージ」では、直営店2店舗の新規出店と3店舗のフランチャイズ店への転換及びフランチャイズ店6店舗の出店（内3店舗は直営店からの転換）がありました。「アップガレージ ライダース」では、フランチャイズ店1店舗の出店、「アップガレージホイールズ」ではフランチャイズ店1店舗の出店がありました。よって、当第2四半期累計期間末の店舗数は、「アップガレージ」71店舗（内フランチャイズ店55店舗）、「アップガレージ ライダース」11店舗（同店10店舗）並びに「アップガレージ ホイールズ」9店舗（同店6店舗）を全国展開し、直営店及びフランチャイズ店の合計店舗数は91店舗となっております。

当第2四半期会計期間末における当社の出店、閉店の状況は以下のとおりです。

	出店		閉店		第2四半期会計期間末店舗数		
	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	合計
アップガレージ	2店	6店(3)	3店(3)	—	16店	55店	71店
アップガレージ ライダース	—	1店	—	—	1店	10店	11店
アップガレージ ホイールズ	—	1店	—	—	3店	6店	9店
合計	2店	8店(3)	3店(3)	—	20店	71店	91店

(注) カッコ内は、転換による増減で、内書きで記載しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は順調に推移し、2,461,145千円（前年同期比8.8%増）となりました。利益面につきましては、当第2四半期会計期間に予定しておりました直営店の新規出店が下期以降にずれ込み、新規の出店費用が発生しなかったこと、フランチャイズ店の新規出店が順調に推移したことにより、営業利益68,421千円（前年同期比60.1%増）、経常利益66,355千円（前年同期比56.8%増）、四半期純利益は42,908千円（前年同期比158.6%増）となりました。

事業別概況は以下のとおりです。

#### (直営事業)

当第2四半期累計期間の直営事業においては、前年同期と比べ、既存店舗の収益力、販売力の強化に注力したことにより、粗利率が改善し、また、販売費及び一般管理費を圧縮したことにより、営業利益率が向上しております。よって、直営事業の売上高は、第1四半期会計期間に新規出店した2店舗が寄与し、前事業年度に引き続き順調な推移を見せ2,177,194千円（前年同期比9.5%増）となりました。

#### (フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業では、既存フランチャイズ店の販売が若干ではありますが、前年同期を下回り、ロイヤリティー収入118,252千円（前年同期比2.4%減）となりました。ロイヤリティー以外の収入においては、新規加盟契約数が前年同期を上回り、加盟店収入及び店舗設備販売収入等の増加により、165,698千円（前年同期比7.7%増）となりました。結果、フランチャイズ事業の売上高は、283,951千円（前年同期比3.3%増）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産の状況は、前事業年度末より74,074千円減少し、1,771,716千円となりました。これは主に、現金及び預金の171,022千円の減少に対し、売掛金の増加17,559千円、商品の増加22,652千円及び敷金及び保証金の増加15,511千円等の増加要因があったことによるものです。

負債の状況は、前事業年度末より102,796千円減少し、1,026,806千円となりました。これは主に、短期借入金50,000千円、長期借入金119,046千円の減少によるものです。

純資産の状況は、前事業年度末より28,722千円増加し、744,910千円となりました。これは主に、配当に伴う剰余金の取り崩し14,186千円がありましたが、四半期純利益42,908千円を計上したことによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金同等物（以下「資金」）は、前事業年度末に比べ142,338千円減少し、285,624千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、83,749千円（前年同四半期は104,303千円の減少）となりました。これは主に、たな卸資産23,358千円の増加による資金の減少要因があったものの、税引前四半期純利益81,297千円の計上及び仕入債務14,339千円の増加に伴う資金の増加要因によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、39,660千円（前年同四半期は60,375千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出56,543千円、敷金及び保証金の差入による支出15,649千円等の減少要因があったものの、定期預金の払戻による収入44,782千円、有形固定資産の売却による収入11,856千円等の増加要因によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、186,427千円（前年同四半期は46,241千円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出50,000千円、長期借入金の返済による支出119,046千円及び配当金の支払13,822千円等の減少要因によるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における当社業績は、個人消費の低迷、消費者の低価格志向のあおりを受け、直営事業の既存店舗の売上高は、前年同期に比べ若干ではありますが下回る状況となりました。直営店全店としては、前事業年度の3店舗、当第1四半期会計期間の2店舗の新規出店が寄与し、売上高は順調に推移しております。

フランチャイズ事業では、既存店舗は、直営事業同様に前年同期を下回る状況となり、ロイヤリティ収入が若干ではありますが減少いたしました。しかしながら、フランチャイズ店の新規加盟契約が順調に推移したことから、フランチャイズ事業においても売上高は順調に推移しております。

利益面においては、第2四半期累計期間に予定しておりました直営事業の新規出店計画の一部が、第3四半期以降に繰り延べたこと、フランチャイズ新規加盟契約が当初予定を上回ったこと等により、当初予想を上回るようになりました。

以上により、平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想は、売上高及び収益が当初予想を上回ったため修正を行いました。詳細につきましては、平成21年10月29日公表「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、通期の業績予想につきましては、直営事業の新規出店が第3四半期以降に繰り延べましたが、通期の売上及び利益に与える影響は軽微なものと予想し、前回公表（平成21年5月14日公表）の予想数値に変更はございません。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	329,682	500,704
売掛金	231,103	213,543
商品	656,248	633,596
貯蔵品	1,549	843
前払費用	41,468	36,869
繰延税金資産	20,955	14,950
未収入金	37,078	9,175
預け金	5,538	5,477
その他	3,635	4,068
貸倒引当金	△8,139	△7,533
流動資産合計	1,319,121	1,411,696
固定資産		
有形固定資産		
建物	219,246	226,833
減価償却累計額	△119,469	△118,387
建物（純額）	99,777	108,446
構築物	64,757	63,989
減価償却累計額	△42,776	△46,355
構築物（純額）	21,981	17,633
機械及び装置	49,267	50,605
減価償却累計額	△25,703	△28,486
機械及び装置（純額）	23,563	22,118
車両運搬具	15,652	7,582
減価償却累計額	△8,493	△4,883
車両運搬具（純額）	7,159	2,699
工具、器具及び備品	227,822	233,789
減価償却累計額	△180,274	△189,438
工具、器具及び備品（純額）	47,548	44,350
建設仮勘定	3,000	—
リース資産	19,330	19,330
減価償却累計額	△14,019	△12,817
リース資産（純額）	5,311	6,513
有形固定資産合計	208,341	201,762
無形固定資産		
商標権	1,124	1,288
ソフトウェア	44,195	45,867
電話加入権	2,531	2,531
リース資産	6,500	8,060
無形固定資産合計	54,351	57,747
投資その他の資産		
出資金	10	10
繰延税金資産	7,538	7,509
敷金及び保証金	179,978	164,467
破産更生債権等	21,421	21,421
長期前払費用	277	500
貸倒引当金	△19,323	△19,323

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
投資その他の資産合計	189,902	174,585
固定資産合計	452,595	434,095
資産合計	1,771,716	1,845,791
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,969	79,629
短期借入金	150,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	204,772	221,432
リース債務	7,089	7,031
未払金	41,875	63,669
未払費用	29,544	34,183
未払法人税等	48,377	5,690
未払消費税等	17,417	—
未払配当金	609	246
預り金	13,848	5,469
賞与引当金	23,025	13,755
その他	9,583	8,156
流動負債合計	640,113	639,264
固定負債		
長期借入金	343,680	446,066
リース債務	7,812	11,372
長期預り保証金	35,200	32,900
固定負債合計	386,692	490,338
負債合計	1,026,806	1,129,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,330	268,330
資本剰余金	287,225	287,225
利益剰余金	254,744	226,021
自己株式	△65,388	△65,388
株主資本合計	744,910	716,188
純資産合計	744,910	716,188
負債純資産合計	1,771,716	1,845,791

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,262,611	2,461,145
売上原価	1,271,888	1,335,484
売上総利益	990,723	1,125,660
販売費及び一般管理費	947,975	1,057,239
営業利益	42,747	68,421
営業外収益		
受取利息	452	206
受取手数料	3,835	3,931
その他	2,949	3,801
営業外収益合計	7,237	7,940
営業外費用		
支払利息	7,547	7,601
支払手数料	—	1,002
その他	131	1,400
営業外費用合計	7,679	10,005
経常利益	42,305	66,355
特別利益		
賞与引当金戻入額	942	738
貸倒引当金戻入額	728	—
店舗譲渡益	—	14,521
特別利益合計	1,671	15,259
特別損失		
固定資産除却損	3,611	—
固定資産売却損	—	317
特別損失合計	3,611	317
税引前四半期純利益	40,365	81,297
法人税、住民税及び事業税	11,300	44,423
過年度法人税等	3,339	—
法人税等調整額	9,130	△6,034
法人税等合計	23,770	38,388
四半期純利益	16,594	42,908

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	40,365	81,297
減価償却費	20,174	29,274
その他の償却額	14,166	13,062
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,340	9,270
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△728	605
受取利息及び受取配当金	△452	△206
支払利息	7,547	7,601
固定資産除却損	3,611	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	317
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,177	△17,559
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103,513	△23,358
その他の資産の増減額 (△は増加)	△22,992	△24,425
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,936	14,339
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7,250	2,896
小計	△62,526	93,115
利息及び配当金の受取額	452	206
利息の支払額	△8,530	△7,173
法人税等の支払額	△33,698	△2,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104,303	83,749
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△18,034	△16,099
定期預金の払戻による収入	—	44,782
有形固定資産の取得による支出	△18,040	△56,543
有形固定資産の売却による収入	—	11,856
有形固定資産の除却による支出	△3,008	—
無形固定資産の取得による支出	△1,350	△8,145
敷金及び保証金の差入による支出	△21,972	△15,649
敷金及び保証金の回収による収入	2,030	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,375	△39,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△50,000
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△173,592	△119,046
社債の償還による支出	△7,000	—
自己株式の取得による支出	△2,897	—
配当金の支払額	△16,541	△13,822
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,501	△3,559
割賦債務の返済による支出	△225	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,241	△186,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△118,437	△142,338
現金及び現金同等物の期首残高	433,533	427,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	315,096	285,624

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

該当事項はありません。

### (2) 受注状況

当社は一般顧客（最終消費者）を対象とした店舗販売であるため、記載を省略いたします。

### (3) 仕入の状況

中古カー用品等の販売事業における商品分類別仕入実績

商品分類別	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)		
	仕入高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
タイヤ・アルミホイール	360,767	27.8	103.5
カーオーディオ カーエレクトロニクス	232,408	17.9	96.3
カースポーツ用品	196,244	15.1	105.6
その他のカー用品	510,023	39.2	109.8
合計	1,299,444	100.0	104.8

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 金額は仕入価格によっております。

### (4) 販売の状況

商品分類別販売実績

商品分類別	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	
タイヤ・アルミホイール	772,538	31.4	112.5	
カーオーディオ カーエレクトロニクス	480,163	19.5	108.3	
カースポーツ用品	407,119	16.6	125.4	
その他のカー用品	517,373	21.0	97.1	
小計	2,177,194	88.5	109.5	
フランチャイズ収入	ロイヤリティー収入	118,252	4.8	97.6
	その他の収入	165,698	6.7	107.7
	小計	283,951	11.5	103.3
合計	2,461,145	100.0	108.8	

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。